

NPO K's Point

第4回 運営会議（総会）

開催日：2015年5月17日（日） 午後12時30分～12時45分

議長：森本 武（NPO K's Point 代表）

司会・書記：伊藤 あゆみ（NPO K's Point 事務局長）

目次

『NPO K's Point mission（目的）』（p.1）

【報告事項】

1. 活動報告

- ・2013年度後期／2014年度前期（pp.2-3）

2. 収支報告

- ・2013年度収支報告（p.4）

3. 2015年度活動計画（p.5）

- ・事業別年間計画
- ・出版事業

NPO K's Point
mission

目的

J. クリシュナムルティの思想研究をとおして、思考に依存しない生き方の可能性をさぐり、人間のいだけ不安の軽減、解消の実現をはかる。
より具体的には、「今」という絶対的現在を曇りなく生きる知性の存在を検証し、その成果を種々の活動、媒体をとおして広報する。

1. 本会は、一定の目的をもった慈善事業を営む資源を確保するため、営利事業にも節度をもって取り組む。
2. 目的の実現と手段は直結しているので、手段としての営利事業の取り組みにおいても、常に目的の内包する意義を逸脱しないよう細心の注意を払う。
3. 組織的成熟にむけて短中期的に構想するが、長期の見通しはもたない。

1. 活動報告 2013 年度後期／2014 年度前期

■ 2013 年度 後期 (2013.12.1-2014.5.31)

2013 年

12 月 1 日 探求の会『SEX』（兵庫県民会館「ぼたん」・神戸市中央区）

愛を特別なものにし、神秘化し、卑退化している要因のひとつがセックスであるといえる。人間は、いまや「生物」、「動物」にとどまっていない。人間にしか成し得ない、かくも偉大な文明、文化をうみだしてきた。しかし性に根ざしたエネルギー、欲望、あるいは娯楽活動は、依然として原初的な生理活動として人類一族の存続繁栄を支えている。セックスについて論じ、考察する場合は限定されており、それゆえに、その実体が個人の意識の中に幽閉されがちである。愛とセックスの関係も主観の問題でしかなく、共有しにくいことから、様々な不幸が生じているようにおもえる。

12 月 24 日 Kの生活塾 第 16 回「野心」（京都嵯峨芸術大学・京都市右京区）

生き辛いこの世に生きている、けれども、それだけではダメだ、といつか誰かに言われたような。目立つ成果を上げないと人間としての価値がない、と考え出したのはいつ頃からか。人生をレース（競争）に例えたとき、その金メダルを獲るには野心が不可欠なのだ、とこれまた誰かから聞いたような。

2014 年

1 月 26 日 Tea Party 「K から自立的に学ぶ」とはどういうことか (京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

2 月 16 日 Kの生活塾 第 17 回「怒り」（京都嵯峨芸術大学・京都市右京区）

路上で、偶然、怒っている人に出会ったとする。自分に向けられた怒りでもないのに、強い不快なエネルギーが周囲に放出されているのを感じるだろう。怒りは、それが向けられた相手以上に、発した本人の心身をひどく傷つけるエネルギーである。「私」に内蔵する凶器なのだ。

対話的講演会— K's Point 夜講座

3 月 8 日 「クリシュナムルティのジョークに学ぶシリアスな生き方 (1)」 (キャンパスプラザ京都 第 2 演習室) 話し手：森本武 (NPO K's Point 代表)

真剣に誠実に生きている人間を、距離をおいて観察すると、コミカルで痛ましい生き物にみえるものだ。K のジョークには、その距離と、冷徹な愛が含まれている。“笑うのはいいことです。いいジョークに対しても、自分に対しても。ひとは、こころに悲しみや惨めなおもいを多くかかえすぎていますからね。”
(J. クリシュナムルティ)

4 月 19 日 Kの生活塾 第 18 回「対話」（京都嵯峨芸術大学・京都市右京区）

自分という固有の生命と、自分でない他の生命との違いは大きい。「人間だもの」とくれない違和感が歴然と存在する。その「違い」を乗り越える手段のひとつが対話なのだろう。とはいえ、おしゃべりは対話ではないし、言い争いも対話ではない。聞き合う関係が成立していなければ対話にならないからだ。

K's Point 研究会

5 月 11 日 『「クリシュナムルティの教えを学ぶ場」のつくり方』 (光塾 COMMON CONTACT 並木町・東京都渋谷区)

1. K's Point 15 年間の取組み発表 発表者：森本武 (NPO K's Point 代表)
2. テーマをめぐる話し合い

■ 2014 年度前期 (2014.6.1-2014.11.30)

6月7日 Kの生活塾 第19回 『「こわれた人生」をどう修復するか』

(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

ごめんなさい。コップや時計みたいに人生が語れるとはおもえないけれど、なんだかうまくいっていないポンコツな生き方っていうものがあるものです。部品交換できる時計と、人生は違う。さてさて、修理にはどこからとりかかればいいんでしょう。

6月23日 K's Point DIGITAL News Letter 「insight 02」 発行

7月13日 K語・観察会 第11回 『安心—security』 (京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

「蓄積には明らかに安心がある」とKは思考の特徴を語ります。

お金であれ、知識であれ、それらが蓄えられ増大するにつれ、安心が増すのですが、この蓄えられたものはいつまでも増え続けるのでしょうか。

いつまでも、確保できるのでしょうか。

いや、思考はそうではないことも知っています。

8月17日 Kの生活塾 第20回 『家族という関係の独自性を考える』

(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

「ひとりの人間とひとりの人間が共に生きている」、あるいは、「幾人かの人間がなんらかの関係をもって、生きている」としよう。

これらのひとつがただの集団であるときと、「家族」と呼ばれるときとは何がどう違ういるのだろうか。

9月7日 講演会 『「お金」というこの世限定の「道具」をどう理解したらいいのでしょうか』

(大阪市立総合生涯学習センター・大阪市北区) / 話し手: 森本武 (NPO K's Point 代表)

最も有力な道具としてのお金。

欲望を弄ぶ、汚れた道具としてのお金。

幸福、あるいは不幸をもたらす決定的な要因としてのお金。

この不可欠で不可解な怪物を、人間はどう理解すべきなのでしょう。

金融でもなく、経済でもなく、自己理解を深めていく中で

お金の正体をつきとめなければなりません。

是非とも。

10月4日 「ニューブランシュ KYOTO, マチデコ・インターナショナル 2014」

(京都国際マンガミュージアム)

美術家で、K's Point 会員でもある江村耕市さんが「江村耕市 + emuralabo (エムララボ)」として出品した映像作品に、本会代表の森本武が、アナキー・タケとして詩を提供。

10月11日 講演会 『ひとりで生きる。ひとりで死ぬ。』

(浄土宗大蓮寺塔頭 應典院・大阪市天王寺区) / 話し手: 森本武 (NPO K's Point 代表)

生と死は、コインの裏表。一つのものの二つの面。

死は、生における劇的な解放の機会であり、生の終わりではない。

この世への誕生も、この世からの離脱も、たったひとりの営みとしてある。

それだけに、われわれは、どこまでも、なんとしても孤独に負けることなく、命の光を輝かさなければならない。

11月8日 Kの生活塾 第21回 『ひとはどうしてひとを教育したくなるのか』

(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

先生という仕事にかぎるものではありません。

親は子に、上司は部下に、先輩は後輩に、なにかと教えたくなり、教えておかなければならないと考えてしまいます。

人間はどうしてこんなに教育したがるのでしょうか。

教育すべきことを増やしてしまったのでしょうか。

そして、その結果である現在の人類は「うまくいっている」のでしょうか。

2. 収支報告

2.1

2013 年度 <第 3 期> 収支報告 (2013.6.1-2014.5.31)

■ 収入の部

(勘定科目)	実績
イベント事業収入	118,000
相談事業収入	0
出版事業収入	91,308
年会費収入	126,000
寄付金収入	600
雑収入	0
[合計]	335,908

注：森本代表からの借入金（預り金収入）は含まない

■ 支出の部

(勘定科目)	実績
イベント事業費	74,260
出版事業費	371,800
消耗品費	483
通信費	16027
旅費交通費	58250
諸経費	0
[合計]	520,820

注：スタッフへの給与等は含まない

3. 2015 年度活動計画

事業別年間計画

■ イベント事業

- ・ K の生活塾 [会員限定] : 4 回 ※日程とテーマは下記参照
- ・ 講演会 : 3 回
- ・ 探求の会 [会員限定] : 1 回
- ・ K 語・観察会 : 1 回
- ・ その他イベント : 1 回

※イベントの回数・内容等は、は予告なく変更される場合があります。

【2015 年度 K の生活塾 日程とテーマ】

2015 年 6 月 14 日 (日) 第 25 回『私の中にみる「自然」』

2015 年 10 月 3 日 (土) 第 26 回『神秘的な力に出会う』

2016 年 1 月 16 日 (土) 第 27 回『安上がりで高貴なくらし』

2016 年 5 月 15 日 (日) 第 28 回『なぜ人間は「今」に生きられないのか』

■ 出版事業

会報文庫として『アナーキー・タケ (森本武) 詩集 (仮)』の出版

■ PDF 版 ニュースレターの発行

本会ウェブサイト上で公開している、digital News Letter 「insight」を、年度内 2 回を目処に発行

NPO K's Point
www.kspoint.com

617-0006 京都府向日市上植野町北小路 42-6
Email kspoint1998@yahoo.co.jp
FAX 075-935-5394